



# 通信 Jul.



サンカヨウ

## 山荷葉(サンカヨウ)

右の写真は山荷葉です。通常は高地に咲く白い小さな花ですが、タイミング良く雨がたくさん降ると、しだいにガラスのように透明になり、神秘的です。土砂降りの雨の中、柵池高原で赤木先生が撮影しました。

梅雨に入ったようですが晴天が多く、とにかく暑いですね。こまめに水分をとり熱中症を予防してください。

個個港学舎 舎長 八木貴子

## 学習状況のお知らせ

大事な夏休み。計画を立て充実させましょう！

小学生:定例以外の科目、特に英語はお勧めです。

夏休みの自由課題もお手伝いします。

中学生:9月初めに定期試験ですね。宿題に追われているうちに試験勉強がおそろかになりがちです。早めに対策しておきましょう。

高校生:都合の良い日に短期講習を計画できます。

気になる事だけ学習でき、実力アップを狙うチャンスです。



## 文化遺産-32-風流踊その1

### 長野県新野(にいの)の盆踊り

### 約500年以上も続く静かな盆踊り◆8月

14~16日の午後9時から翌朝まで、商店街の中心に建てられた櫓(やぐら)を囲んで住民たちが夜通し踊ります。盆踊りといえば、楽器に合わせた踊りが一般的ですが、新野の盆踊りは三味線、笛、太鼓といった鳴り物を一切使いません。櫓の上にいる音頭取りと、その下で踊る踊り子の声だけで踊りが進められる、素朴な踊りです。新野の盆踊りのはじまりは、室町時代の末期、瑞光院建立の折に三州振草下田の人々が来て踊った「おさま」が始まりといわれています。踊りの種類は7つ、扇子を持って踊る「すくいさ」「音頭」などと手踊りの「高い山」「十六」「能登」です。このうち、毎晩最初に踊るのは、「すくいさ」と



決まっています。昔は、お盆に庄屋さんの家で米を振る舞い、それを「たくさんすくいなさい」という意味が、「すくいさ」の句にこめられています。「能登」は17日の朝方「踊り神送りの式」の間だけ踊られ、それ以外の時間帯は、他の踊りを適当に変えながら踊ります。

## 八木家の食卓

**カシューナッツ**◆ナッツの中でも脂質が少なく、カロリーが低いことが特徴です。カシューナッツには、ビタミンK・ビタミンB1などビタミン類の他、マグネシウム・亜鉛・鉄などミネラルの栄養素も豊富に含まれています。

### 「鶏肉のカシューナッツ炒め」

中華の定番料理です。玉ねぎとピーマン、パプリカも加え、彩りがよく、やわらかくジューシーな鶏もも肉とカシューナッツの歯応えが楽しい一品です。

材料(4人分)◆鶏もも肉:2枚、玉ねぎ:1/2個、ピーマン:4個、赤パプリカ:2/3個、黄パプリカ:2/3個、カシューナッツ:100g、鶏肉の下味(酒:大2、塩:少々) 合わせ調味料(酒:大2、紹興酒:大2、みりん:大2、しょう油:小4、砂糖:小2、オイスターソース:小4、片栗粉:小1 を混ぜておく)

作り方◆①材料はすべて2.5センチ角に切る。鶏肉は酒と塩を揉み込む。②フライパンで中火で鶏肉を炒める。8割くらい火が入ったらカシューナッツを加えてさらに炒める。③玉ねぎ、ピーマン、パプリカを入れて香りが出るまで炒める。玉ねぎはシャキシャキ



感が残る位に仕上げる。④合わせ調味料を入れて馴染んだら出来上がり。

6月11日八木家メニュー



決まっています。昔は、お盆に庄屋さんの家で米を振る舞い、それを「たくさんすくいなさい」という意味が、「すくいさ」の句にこめられています。「能登」は17日の朝方「踊り神送りの式」の間だけ踊られ、それ以外の時間帯は、他の踊りを適当に変えながら踊ります。

**「踊り神送り」の式**◆踊り神送りは、信仰と結びついた新野の盆踊りの特徴のひとつです。17日の明け方、市神様の神前で和讃(仏教の教義や徳などを和語でたたえるもの。)を唱えます。このときに踊るのが「能登」です。櫓から切り子灯籠が下ろされ、太鼓を叩いて行列を作り、「太子堂」まで行き、行列の先頭が市神様を通り過ぎると「能登」をやめる決まりです。しかし、盆踊りが終わるのを惜しむ踊り子たちは、行列の進行を阻止しようと小さな輪を作って踊り続けます。踊りをやめさせようとする行列とのやりとりが新野の盆踊りのクライマックスです。広場まで来ると、切り子灯籠を積み重ね、花火の合図で火が点けられ、一同は振りむかずに秋歌を歌いながら帰ります。

**新野の盆踊りと信仰**◆神仏混合の独自の盆踊りは、神迎え、神送りが1年の区切りという考え方に基づいて行われます。1月の雪まつりで神々が祝福のために新野を訪れ、7月には祖先の霊が帰ります。盆踊りには精霊迎いの行事と踊り、神送りの古い信仰の形が残されています。

